

[2] 都道府県別概況

ここからは都道府県別に映画興行の状況を見てみる。

		人口	映画館数 (サイト数)	スクリーン 数	年間観客数	1スクリーン当たり 人口	1スクリーン当たり 観客数	1人当たり 年間映画鑑賞 回数	公開本数 (本)	1スクリーン 当たり 公開本数
	全国計	127,083,000	570	3,365	171,670,710	37,766	51,017	1.4	111,104	33
1	北海道	5,400,000	23	114	4,874,983	47,368	42,763	0.9	3,519	31
2	青森	1,321,000	8	44	1,146,300	30,023	26,052	0.9	1,277	29
3	岩手	1,284,000	8	25	849,022	51,360	33,961	0.7	971	39
4	宮城	2,328,000	10	64	2,749,881	36,375	42,967	1.2	2,084	33
5	秋田	1,037,000	5	21	693,637	49,381	33,030	0.7	692	33
6	山形	1,131,000	8	56	1,681,356	20,196	30,024	1.5	2,650	47
7	福島	1,935,000	6	26	1,438,657	74,423	55,333	0.7	691	27
8	茨城	2,919,000	13	91	3,579,448	32,077	39,335	1.2	2,788	31
9	栃木	1,980,000	9	57	2,824,646	34,737	49,555	1.4	1,565	27
10	群馬	1,976,000	8	62	2,735,988	31,871	44,129	1.4	2,178	35
11	埼玉	7,239,000	24	200	10,152,694	36,195	50,763	1.4	5,841	29
12	千葉	6,197,000	23	199	9,157,181	31,141	46,016	1.5	5,865	29
13	東京	13,390,000	77	335	27,321,715	39,970	81,557	2.0	11,178	33
14	神奈川	9,096,000	32	218	14,446,853	41,725	66,270	1.6	7,129	33
15	新潟	2,313,000	9	63	2,443,108	36,714	38,779	1.1	2,114	34
16	富山	1,070,000	3	23	1,125,029	46,522	48,914	1.1	754	33
17	石川	1,156,000	8	54	1,696,931	21,407	31,425	1.5	2,034	38
18	福井	790,000	7	31	882,088	25,484	28,454	1.1	731	24
19	山梨	841,000	5	14	809,897	60,071	57,850	1.0	668	48
20	長野	2,109,000	14	65	1,630,210	32,446	25,080	0.8	1,403	22
21	岐阜	2,041,000	8	56	2,302,535	36,446	41,117	1.1	1,789	32
22	静岡	3,705,000	15	98	4,715,036	37,806	48,113	1.3	3,176	32
23	愛知	7,455,000	37	258	12,808,835	28,895	49,647	1.7	8,854	34
24	三重	1,825,000	10	58	2,287,545	31,466	39,440	1.3	2,511	43
25	滋賀	1,416,000	6	38	1,708,413	37,263	44,958	1.2	1,152	30
26	京都	2,610,000	12	75	4,231,153	34,800	56,415	1.6	2,913	39
27	大阪	8,836,000	31	204	14,771,418	43,314	72,409	1.7	6,997	34
28	兵庫	5,541,000	27	118	6,406,240	46,958	54,290	1.2	3,921	33
29	奈良	1,376,000	3	25	1,354,409	55,040	54,176	1.0	804	32
30	和歌山	971,000	5	30	1,042,039	32,367	34,735	1.1	911	30
31	鳥取	574,000	3	11	386,235	52,182	35,112	0.7	-	0
32	島根	697,000	2	15	-	46,467	0	-	-	0
33	岡山	1,924,000	7	39	1,942,296	49,333	49,802	1.0	1,597	41
34	広島	2,833,000	15	72	3,398,387	39,347	47,200	1.2	2,641	37
35	山口	1,408,000	5	30	1,254,304	46,933	41,810	0.9	796	27
36	徳島	764,000	2	10	-	76,400	0	-	-	0
37	香川	981,000	4	19	1,754,719	51,632	92,354	1.8	1,409	74
38	愛媛	1,395,000	9	52	1,264,564	26,827	24,319	0.9	1,092	21
39	高知	738,000	2	10	-	73,800	0	-	-	0
40	福岡	5,091,000	24	184	7,830,559	27,668	42,557	1.5	5,573	30
41	佐賀	835,000	3	20	759,944	41,750	37,997	0.9	854	43
42	長崎	1,386,000	5	26	1,204,108	53,308	46,312	0.9	818	31
43	熊本	1,794,000	9	50	1,851,662	35,880	37,033	1.0	2,013	40
44	大分	1,171,000	7	25	1,033,186	46,840	41,327	0.9	1,098	44
45	宮崎	1,114,000	5	18	776,371	61,889	43,132	0.7	499	28
46	鹿児島	1,668,000	7	31	1,331,183	53,806	42,941	0.8	1,019	33
47	沖縄	1,421,000	7	31	1,301,702	45,839	41,990	0.9	1,442	47

* 映画館数・スクリーン数は、「映画年鑑2015」(時事通信社刊)別冊「映画館名簿」、年間観客数と公開本数は「平成27(2015)年度特定サービス産業実態調査報告書映画館編」(経済産業省)による(いずれも2014年のデータ)。年間観客数について、日本映画製作者連盟発表の数値とはデータの取り方に違いがあるため、多少齟齬がある。人口は、総務省統計局発表による(平成26年10月1日現在)都道府県別総人口を参照した。

「スクリーン当たり入場者数」は、年間入場者数をスクリーン数で割った数値である。

「一人当たり年間映画鑑賞回数」は、年間入場者数を人口で割った数値である。

このデータにおける「公開本数」とは、映画館ごとの上映本数の総数をさす。同じ作品が都道府県内の別の映画館でも上映されている場合があるため、公開本数が多いからといって多様な作品が上映されているとは必ずしもいえない。1スクリーン当たり公開本数は、1スクリーンで上映される作品数の平均値を表している。

■都道府県別概況

観客数(2014)を都道府県別にみると、当然ながら、東京が2732.2万人で最も多く、続いて大阪(1477.1万人)、神奈川県(1444.7万人)、愛知(1280.9万人)、埼玉(1015.3万人)、千葉(915.7万人)、福岡(783.0万人)、兵庫(640.6万人)、北海道(487.5万人)、静岡(471.5万人)と、政令指定都市を抱える都道府県が上位を占める。

スクリーン数も、東京で、335スクリーン、愛知(258)、神奈川県(218)、大阪(204)、埼玉(200)、千葉(199)、福岡(184)、兵庫(118)、北海道(114)、静岡(98)と、年間観客数と同じ都道府県が並ぶ。

一人当たり年間鑑賞回数は、都道府県民1人が1年間に映画館で映画を見る回数を示したもので、全国平均は1.4である。これも2.0の東京がトップで、香川(1.8)、愛知(1.7)、大阪(1.7)、京都(1.6)、神奈川県(1.6)、福岡(1.5)、山形(1.5)、千葉(1.5)、石川(1.5)と続き、この10都道府県は全国平均を上回っている。観客数、スクリーン数同様、人口が多い都道府県が並んでいるが、その中に山形県(人口35)と石川県(人口34)、香川県(人口39)が入っているのが目立つ。

スクリーン当たり人口をみても。「スクリーン当たり人口」は、各都道府県の人口をスクリーン数で割った数で、この数値が少ないほどスクリーン数が多いとみることができる。この数値が、山形県は20,196人、石川県は21,407人と、全国平均の37,766人を大きく下回っており、全国1位、2位となっている。スクリーン数の多さが、映画の鑑賞回数が多いことにつながっている。「スクリーン当たり人口」が豊かであることが、鑑賞回数につながっていないケースもある。愛媛県、青森県などは、スクリーン当たり人口の数値は高位置にあるが、映画鑑賞回数は0.9にとどまっている。映画の鑑賞は、「習慣化」といわれるが、近隣に映画館がなければ、映画をみるきっかけは得られない。映画館の数が減れば当然ながら観客数の減少はさらに進む。

映画館の空白地域が広がる地域では、映画祭やシネマテーク、自主上映などの映画館以外でスクリーン体験を提供しているケースも多く、映画館の状況のみをみて、映画環境の豊かさをはかることもできない。

■都道府県別観客数の推移(2012~2014)

都道府県別の観客数の推移を2012、2013、2014年の3年間についてみる。

東日本大震災で大きく落ち込んだ観客数は、2012年以降、徐々に持ち直し、最も被害が大きかった岩手県、宮城県、福島県においても2012年から2014年にかけて微増している。

増加率が高いのは、香川県(148.9%)、山口県(139.6%)、栃木県(125.7%)、群馬県(120.2%)である。この変化には、映画館の開館や閉館も大きく関係している。山口県は2014年に「シネマサンシャイン下関」(8スクリーン)がオープンし、2013年から2014年の間に観客数が38万人増加している。また、和歌山県では2014年に「イオンシネマ和歌山」(10スクリーン)がオープンしたため、1年間で30%以上増加している。

全体的に観客が増加している中で、北海道、富山県、沖縄県で数字がかなり下がっていることが目立っている。

		年間観客数			増減 (2012→2014)	増減率	一人当り年間鑑賞本数		
		2014年	2013年	2012年			2014年	2013年	2012年
	全国計	171,670,710	158,872,736	157,736,191	13,934,519	108.8%	1.4	1.2	1.2
1	北海道	4,874,983	4,855,615	5,201,539	-326,556	93.7%	0.9	0.9	1.0
2	青森	1,146,300	1,113,994	1,114,582	31,718	102.8%	0.9	0.8	0.8
3	岩手	849,022	760,921	805,909	43,113	105.3%	0.7	0.6	0.6
4	宮城	2,749,881	2,518,211	2,296,134	453,747	119.8%	1.2	1.1	1.0
5	秋田	693,637	586,954	707,362	-13,725	98.1%	0.7	0.6	0.7
6	山形	1,681,356	1,312,773	1,428,781	252,575	117.7%	1.5	1.2	1.2
7	福島	1,438,657	1,233,413	1,312,490	126,167	109.6%	0.7	0.6	0.7
8	茨城	3,579,448	3,029,132	3,908,169	-328,721	91.6%	1.2	1.0	1.3
9	栃木	2,824,646	3,149,068	2,246,933	577,713	125.7%	1.4	1.6	1.1
10	群馬	2,735,988	2,379,300	2,276,794	459,194	120.2%	1.4	1.2	1.1
11	埼玉	10,152,694	9,237,390	8,711,329	1,441,365	116.5%	1.4	1.3	1.2
12	千葉	9,157,181	8,592,368	7,733,258	1,423,923	118.4%	1.5	1.4	1.2
13	東京	27,321,715	26,018,761	24,644,181	2,677,534	110.9%	2.0	2.0	1.9
14	神奈川	14,446,853	14,423,334	14,335,494	111,359	100.8%	1.6	1.6	1.6
15	新潟	2,443,108	2,217,416	2,300,079	143,029	106.2%	1.1	1.0	1.0
16	富山	1,125,029	1,232,116	1,361,810	-236,781	82.6%	1.1	1.1	1.3
17	石川	1,696,931	1,506,378	1,584,104	112,827	107.1%	1.5	1.3	1.4
18	福井	882,088	856,200	756,938	125,150	116.5%	1.1	1.1	0.9
19	山梨	809,897	677,497	814,258	-4,361	99.5%	1.0	0.8	1.0
20	長野	1,630,210	1,350,512	1,680,595	-50,385	97.0%	0.8	0.6	0.8
21	岐阜	2,302,535	2,013,555	2,254,388	48,147	102.1%	1.1	1.0	1.1
22	静岡	4,715,036	4,189,394	3,976,250	738,786	118.6%	1.3	1.1	1.1
23	愛知	12,808,835	10,590,204	10,529,355	2,279,480	121.6%	1.7	1.4	1.4
24	三重	2,287,545	1,951,914	2,036,059	251,486	112.4%	1.3	1.1	1.1
25	滋賀	1,708,413	1,453,973	1,482,976	225,437	115.2%	1.2	1.0	1.0
26	京都	4,231,153	3,923,418	3,599,210	631,943	117.6%	1.6	1.5	1.4
27	大阪	14,771,418	14,118,255	13,187,999	1,583,419	112.0%	1.7	1.6	1.5
28	兵庫	6,406,240	6,880,145	6,068,556	337,684	105.6%	1.2	1.2	1.1
29	奈良	1,354,409	1,474,378	1,326,780	27,629	102.1%	1.0	1.1	1.0
30	和歌山	1,042,039	782,361	764,796	277,243	136.3%	1.1	0.8	0.8
31	鳥取	-	386,235	288,936	-	-	-	0.7	0.5
32	島根	-	-	-	-	-	-	-	-
33	岡山	1,942,296	1,718,456	1,654,583	287,713	117.4%	1.0	0.9	0.9
34	広島	3,398,387	3,272,555	3,578,580	-180,193	95.0%	1.2	1.2	1.3
35	山口	1,254,304	876,735	898,387	355,917	139.6%	0.9	0.6	0.6
36	徳島	-	-	-	-	-	-	-	-
37	香川	1,754,719	912,226	1,178,423	576,296	148.9%	1.8	0.9	1.2
38	愛媛	1,264,564	1,212,330	1,231,253	33,311	102.7%	0.9	0.9	0.9
39	高知	-	-	679,509	-	-	-	-	0.9
40	福岡	7,830,559	6,818,708	8,084,647	-254,088	96.9%	1.5	1.3	1.6
41	佐賀	759,944	659,309	671,178	88,766	113.2%	0.9	0.8	0.8
42	長崎	1,204,108	1,075,671	1,166,682	37,426	103.2%	0.9	0.8	0.8
43	熊本	1,851,662	1,646,876	1,740,936	110,726	106.4%	1.0	0.9	1.0
44	大分	1,033,186	983,371	1,056,818	-23,632	97.8%	0.9	0.8	0.9
45	宮崎	776,371	768,268	736,640	39,731	105.4%	0.7	0.7	0.7
46	鹿児島	1,331,183	1,248,386	1,385,268	-54,085	96.1%	0.8	0.7	0.8
47	沖縄	1,301,702	1,172,152	1,886,214	-584,512	69.0%	0.9	0.8	1.3

* 経済産業省による「特定サービス産業実態調査報告書映画編」と総務省統計局による「人口推計」をもとに作成。

■都道府県別スクリーン数の推移(2005~2015)

全国では、2005年から2015年の間に498スクリーン増加している。

50スクリーン以上増加したのは、埼玉県、千葉県、東京都、大阪府で、45スクリーン増加の神奈川県、35スクリーン増の静岡県、33スクリーン増の愛知県など、首都圏、大都市でスクリーン数が増えている。他方、10スクリーン以上減少しているのは、北海道、福島県、新潟県、富山県、山梨県である。

2000年代前半に郊外型のシネコンが各地につくられ、徐々に既存興行館が閉館するという現象が全国各地でみられた後、2010年代に入ると中心市街地の映画館のシネコン化が進み、都市部のスクリーン数が急増している。また、興行館のデジタル化は2013年までにほぼ完了したが、デジタル化を断念して閉館を決めた既存興行館も多く、シネコンのシェアは増加を続けている。

		2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	スクリーン数増減 (2005年-2015年)
	全国計	2969	3064	3221	3358	3396	3414	3367	3290	3318	3365	3467	498
1	北海道	132	126	126	124	124	124	122	119	118	114	113	-19
2	青森	48	47	45	45	45	45	45	45	44	44	44	-4
3	岩手	24	28	28	27	27	27	27	25	25	25	25	1
4	宮城	71	73	94	94	95	95	84	64	64	64	64	-7
5	秋田	25	19	17	23	23	23	23	22	21	21	22	-3
6	山形	34	30	30	36	35	47	47	47	47	56	56	22
7	福島	36	35	33	28	27	29	28	27	26	26	26	-10
8	茨城	71	67	70	80	88	88	88	88	91	91	89	18
9	栃木	51	49	61	57	58	58	58	58	58	57	55	4
10	群馬	43	51	60	70	72	71	71	62	62	62	61	18
11	埼玉	117	129	162	184	193	193	193	182	200	200	209	92
12	千葉	156	173	189	190	188	190	182	176	189	199	208	52
13	東京	297	343	372	378	364	357	353	342	336	335	359	62
14	神奈川	173	180	199	198	198	216	217	216	216	218	218	45
15	新潟	53	50	65	66	66	66	66	66	64	63	64	11
16	富山	36	31	30	29	23	23	23	23	23	23	24	-12
17	石川	27	36	36	46	54	54	54	54	54	54	54	27
18	福井	33	33	33	31	31	31	31	31	31	31	31	-2
19	山梨	24	23	23	22	22	22	18	18	14	14	14	-10
20	長野	55	60	58	63	64	60	67	66	65	65	63	8
21	岐阜	63	72	76	76	76	76	60	60	60	56	56	-7
22	静岡	62	67	88	88	102	101	101	101	99	98	97	35
23	愛知	225	220	222	244	254	258	251	247	247	258	258	33
24	三重	51	52	50	49	48	48	48	48	58	58	58	7
25	滋賀	35	35	30	39	39	38	38	38	38	38	38	3
26	京都	52	47	56	55	54	66	65	64	63	75	75	23
27	大阪	172	217	209	206	206	198	201	195	195	204	226	54
28	兵庫	106	105	101	112	123	124	115	113	116	118	128	22
29	奈良	40	40	39	39	33	25	34	34	34	25	34	-6
30	和歌山	31	25	25	23	22	22	22	22	20	30	30	-1
31	鳥取	16	14	14	14	14	14	14	11	11	11	11	-5
32	島根	10	10	10	17	15	15	15	15	15	15	15	5
33	岡山	28	35	33	29	29	28	28	28	28	39	39	11
34	広島	70	70	70	79	82	83	78	78	77	72	72	2
35	山口	36	35	35	35	35	35	35	31	24	30	30	-6
36	徳島	14	9	9	9	10	9	8	10	10	10	10	-4
37	香川	17	17	17	26	26	25	25	25	26	19	25	8
38	愛媛	45	43	43	43	43	52	52	52	52	52	52	7
39	高知	17	11	11	11	11	11	11	11	10	10	10	-7
40	福岡	157	147	146	160	164	163	176	175	185	184	185	28
41	佐賀	22	25	27	27	27	20	20	20	20	20	20	-2
42	長崎	24	23	22	30	30	30	26	26	27	26	26	2
43	熊本	52	53	53	53	53	52	50	50	50	50	50	-2
44	大分	34	32	29	28	29	29	25	25	25	25	35	1
45	宮崎	22	20	18	18	18	18	18	18	18	18	18	-4
46	鹿児島	25	23	24	24	24	23	23	31	31	31	30	5
47	沖縄	37	34	33	33	32	32	31	31	31	31	40	3

* 日本映画製作者連盟による「日本映画産業統計」と、コミュニティシネマセンター発行の「映画上映活動年鑑」をもとに作成。

■都道府県別にみる種類別映画館数・スクリーン数の変化(2005/2015)

*「映画年鑑2016」(時事通信社刊)別冊「映画館名簿」と、「映画上映活動年鑑2006」(コミュニティシネマ支援センター刊)をもとに作成。

北海道・東北地方

都道府県別に種類ごとに映画館数、スクリーン数がどのように推移しているかをみえる。

北海・東北地方全体の2015年のスクリーン数は350、映画館数は66で、いずれも2005年比では減少している。(スクリーン数20減、館数37減)日本全体に占める割合は、スクリーン数で10%、映画館数で11.3%となっている。

北海道の19スクリーン減、福島県の10スクリーン減が目立っているが、山形県では22スクリーン増えている。他の地方ではシネコンの増加が続いているが、北海道東北地方では、この10年間でシネコンの増設は6館(サイト)の増加に留まっており、青森県ではシネコンが増設されていない。(北海道は1館閉館し1館開館、宮城県は2館閉館し2館開館している。)新たに作られた6つのシネコンのうち、3館が山形県に集中しており、これが山形県のスクリーン数の増加をもたらしている。

この地方では、映画館の空白地域が非常に広く、また、東北沿岸部では、東日本大震災後からの復興もまだその途上であり、映画館が無くなった沿岸部の市町村で、スクリーン体験をどのように提供していくのかも課題である。

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
北海道						
シネコン	12	92	12	93	0	-1
ミニシアター / 名画座	3	4	5	6	-2	-2
既存興行館	5	15	15	29	-10	-14
成人映画館	2	2	4	4	-2	-2
北海道合計	22	113	36	132	-14	-19

青森県						
	2015年	2005年	2005→2015	増減	映画館	スクリーン
シネコン	5	38	5	38	0	0
ミニシアター / 名画座	1	2	1	2	0	0
既存興行館	1	3	3	5	-2	-2
成人映画館	1	1	2	3	-1	-2
青森県合計	8	44	11	48	-3	-4

岩手県						
	2015年	2005年	2005→2015	増減	映画館	スクリーン
シネコン	2	14	1	7	1	7
ミニシアター / 名画座	1	3	-	3	1	0
既存興行館	5	8	9	14	-4	-6
成人映画館	0	0	0	0	0	0
岩手県合計	8	25	10	24	-2	1

宮城県						
	2015年	2005年	2005→2015	増減	映画館	スクリーン
シネコン	6	56	6	58	0	-2
ミニシアター / 名画座	2	4	1	3	1	1
既存興行館	1	3	5	8	-4	-5
成人映画館	1	1	1	2	0	-1
宮城県合計	10	64	13	71	-3	-7

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
秋田県						
シネコン	3	18	2	13	1	5
ミニシアター / 名画座	2	3	1	3	1	0
既存興行館	1	1	7	9	-6	-8
成人映画館	0	0	0	0	0	0
秋田県合計	6	22	10	25	-4	-3

山形県						
	2015年	2005年	2005→2015	増減	映画館	スクリーン
シネコン	7	51	4	24	3	27
ミニシアター / 名画座	-	3	1	1	-1	2
既存興行館	1	2	5	8	-4	-6
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1
山形県合計	8	56	11	34	-3	22

福島県						
	2015年	2005年	2005→2015	増減	映画館	スクリーン
シネコン	4	26	3	21	1	5
ミニシアター / 名画座	0	0	0	0	0	0
既存興行館	0	0	7	13	-7	-13
成人映画館	0	0	2	2	-2	-2
福島県合計	4	26	12	36	-8	-10

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
北海道 東北地方						
シネコン	39	295	33	254	6	41
ミニシアター / 名画座	9	19	9	18	0	1
既存興行館	14	32	51	86	-37	-54
成人映画館	4	4	10	12	-6	-8
北海道・東北地方合計	66	350	103	370	-37	-20

関東地方

関東地方の2015年のスクリーン数は1199、映画館数は189で、2005年比で映画館数は56減少しているものの、スクリーン数では291増加している。日本全体に占める割合は、スクリーン数で34.6%、映画館数で32.6%となっている。

関東地方では、全ての都県でシネコンが増設されている。特に埼玉県では、この10年間に一県だけで新たに12館(113スクリーン)のシネコンが増設され、その他にも千葉県で10館(94スクリーン)、神奈川県5館(59スクリーン)、東京都15館(144スクリーン)と、4都県合計で42館(410スクリーン)増加している。シネコンの首都圏での増加が著しく、シネコンが郊外型から都心型に移行していることがわかる。

その一方で東京ではシネコン以外の映画館が48館(82スクリーン)閉館している。既存興行館がシネコンへ移行したことに加えて、ミニシアター/名画座も減少している。東京のミニシアター/名画座は、この10年間で13館減少し、2015年は33館56スクリーンとなっている。「都道府県別映画上映施設リスト」(00ページ参照)みればわかるとおり、特に渋谷区のミニシアターと台東区の名画座の閉館が目立っている。関東地方の他県では、既存興行館がシネコンの新設により、番組編成を単館系に変更していることなどにより、ミニシアターが増加、関東地方全体でみると、ミニシアター/名画座の映画館数(スクリーン数)はほとんど変化していない。

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
茨城県						
シネコン	10	84	5	39	5	45
ミニシアター/名画座	0	0	0	0	0	0
既存興行館	2	4	15	31	-13	-27
成人映画館	1	1	1	1	0	0
茨城県合計	13	89	21	71	-8	18

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
栃木県						
シネコン	6	52	4	35	2	17
ミニシアター/名画座	1	3	0	0	1	3
既存興行館	0	0	7	15	-7	-15
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1
栃木県合計	7	55	12	51	-5	4

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
群馬県						
シネコン	6	58	4	38	2	20
ミニシアター/名画座	2	3	1	1	1	2
既存興行館	0	0	2	3	-2	-3
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1
群馬県合計	8	61	8	43	0	18

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
埼玉県						
シネコン	22	204	10	91	12	113
ミニシアター/名画座	2	2	2	2	0	0
既存興行館	1	3	8	21	-7	-18
成人映画館	0	0	2	3	-2	-3
埼玉県合計	25	209	22	117	3	92

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
千葉県						
シネコン	21	202	11	108	10	94
ミニシアター/名画座	2	4	0	0	2	4
既存興行館	1	2	20	45	-19	-43
成人映画館	0	0	3	3	-3	-3
千葉県合計	24	208	34	156	-10	52

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
東京都						
シネコン	29	266	14	122	15	144
ミニシアター/名画座	33	56	46	68	-13	-12
既存興行館	15	33	45	96	-30	-63
成人映画館	3	4	8	11	-5	-7
東京都合計	80	359	113	297	-33	62

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
神奈川県						
シネコン	22	204	17	145	5	59
ミニシアター/名画座	6	8	1	2	5	6
既存興行館	3	4	13	20	-10	-16
成人映画館	1	2	4	6	-3	-4
神奈川県合計	32	218	35	173	-3	45

関東地方	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネコン	116	1070	65	578	51	492
ミニシアター/名画座	46	76	50	73	-4	3
既存興行館	22	46	110	231	-88	-185
成人映画館	5	7	20	26	-15	-19
関東地方合計	189	1199	245	908	-56	291

中部地方

中部地方の2015年のスクリーン数は661、映画館数は108で、2005年比で映画館数は40減少しているが、スクリーン数では83増加している。日本全体に占める割合は、スクリーン数で19%、映画館数で18.6%となっている。

中部地方全体では、石川県、静岡県、愛知県などでのシネコンの増設が目立つ一方で、福井県、岐阜県においてはシネコンの増加はなく、富山県や山梨県ではシネコンの減少がみられる。(富山県6スクリーン減、山梨県4スクリーン減)また、大都市を抱える静岡県や愛知県ではシネコンが50スクリーン以上増加する一方でシネコン以外が30スクリーン以上閉館しており、東京と同様にこの10年間で都心の映画館においてシネコンへの移行が進んでいることがわかる。

石川県では、金沢市とその周辺地域に3館のシネコンが開館し、27スクリーン増加している。

一方で、12スクリーン減少している富山県は、2016年に「JMAX THEATERとやま」(8スクリーン)が開館したが、その後2007年に誕生したミニシアター「フォルツァ総曲輪」が休館している。(富山県の映画状況については148ページを参照)

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン

新潟県

シネコン	7	61	5	40	2	21
ミニシアター / 名画座	3	3	1	1	2	2
既存興行館	0	0	6	8	-6	-8
成人映画館	0	0	4	4	-4	-4
新潟県合計	10	64	16	53	-6	11

富山県

シネコン	3	23	4	29	-1	-6
ミニシアター / 名画座	1	1	0	0	1	1
既存興行館	0	0	3	6	-3	-6
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1
富山県合計	4	24	8	36	-4	-12

石川県

シネコン	6	52	3	25	3	27
ミニシアター / 名画座	1	1	1	1	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0
成人映画館	1	1	1	1	0	0
石川県合計	8	54	5	27	3	27

福井県

シネコン	3	22	3	22	0	0
ミニシアター / 名画座	1	1	1	1	0	0
既存興行館	2	8	2	8	0	0
成人映画館	0	0	1	2	-1	-2
福井県合計	6	31	7	33	-1	-2

山梨県

シネコン	1	9	2	13	-1	-4
ミニシアター / 名画座	0	0	0	0	0	0
既存興行館	3	4	6	10	-3	-6
成人映画館	1	1	1	1	0	0
山梨県合計	5	14	9	24	-4	-10

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン

長野県

シネコン	6	45	3	20	3	25
ミニシアター / 名画座	2	4	0	0	2	4
既存興行館	5	13	16	32	-11	-19
成人映画館	1	1	3	3	-2	-2
長野県合計	14	63	22	55	-8	8

岐阜県

シネコン	5	50	5	50	0	0
ミニシアター / 名画座	0	0	0	0	0	0
既存興行館	2	5	5	12	-3	-7
成人映画館	1	1	1	1	0	0
岐阜県合計	8	56	11	63	-3	-7

静岡県

シネコン	11	90	4	30	7	60
ミニシアター / 名画座	2	3	1	2	1	1
既存興行館	2	3	15	27	-13	-24
成人映画館	1	1	3	3	-2	-2
静岡県合計	16	97	23	62	-7	35

愛知県

シネコン	23	237	18	179	5	58
ミニシアター / 名画座	7	11	8	12	-1	-1
既存興行館	3	6	9	21	-6	-15
成人映画館	4	4	12	13	-8	-9
愛知県合計	37	258	47	225	-10	33

中部地方	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン

シネコン	65	589	48	411	17	178
ミニシアター / 名画座	17	24	13	19	4	5
既存興行館	17	39	60	119	-43	-80
成人映画館	9	9	27	29	-18	-20
中部地方合計	108	661	148	578	-40	83

近畿地方

近畿地方の2015年のスクリーン数は588、映画館は97で、2005年比で映画館数は40減少しているが、スクリーン数では101増加している。日本全体に占める割合は、スクリーン数、映画館数ともに17%となっている。

近畿地方全体で、シネコンはこの10年間の間に17館199スクリーン増加しているが、シネコン以外は58館97スクリーン減少している。

兵庫県、大阪府においては、その他の政令指定都市を抱える都道府県と同様に、都心部において既存興行館からシネコンへの移行が進行していることがわかる。

また、奈良県で6スクリーン減少していることが目立つ。奈良県内にはシネコン以外の映画館が存在せず、シネコンが4館(34スクリーン)あるのみとなっている。また、奈良市では、2010年に「シネマデプト友楽」(8スクリーン)が閉館して以来、県庁所在地に映画館がない状態が続いている。和歌山県では、和歌山市にあった既存興行館と成人映画館が4館(9スクリーン)閉館したため、和歌山市はシネコン2館(20スクリーン)のみとなったが、和歌山市外での御坊市、田辺市、新宮市には既存興行館があり、映画館が県内各所にある環境が保たれている。

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン

三重県

シネコン	6	50	5	40	1	10
ミニシアター / 名画座	1	2	1	1	0	1
既存興行館	1	4	3	7	-2	-3
成人映画館	2	2	3	3	-1	-1
三重県合計	10	58	12	51	-2	7

滋賀県

シネコン	5	34	5	30	0	4
ミニシアター / 名画座	0	0	1	1	-1	-1
既存興行館	1	4	1	4	0	0
成人映画館	0	0	0	0	0	0
滋賀県合計	6	38	7	35	-1	3

京都府

シネコン	6	64	3	31	3	33
ミニシアター / 名画座	2	4	3	6	-1	-2
既存興行館	2	5	8	11	-6	-6
成人映画館	2	2	4	4	-2	-2
京都府合計	12	75	18	52	-6	23

大阪府

シネコン	21	204	12	103	9	101
ミニシアター / 名画座	8	15	9	14	-1	1
既存興行館	1	1	19	41	-18	-40
成人映画館	5	6	12	14	-7	-8
大阪府合計	35	226	52	172	-17	54

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン

兵庫県

シネコン	10	92	6	47	4	45
ミニシアター / 名画座	6	11	4	8	2	3
既存興行館	7	22	19	45	-12	-23
成人映画館	2	2	5	6	-3	-4
兵庫県合計	25	127	34	106	-9	21

奈良県

シネコン	4	34	5	38	-1	-4
ミニシアター / 名画座	0	0	0	0	0	0
既存興行館	0	0	2	2	-2	-2
成人映画館	0	0	0	0	0	0
奈良県合計	4	34	7	40	-3	-6

和歌山県

シネコン	2	20	1	10	1	10
ミニシアター / 名画座	0	0	0	0	0	0
既存興行館	3	10	6	18	-3	-8
成人映画館	0	0	2	3	-2	-3
和歌山県合計	5	30	9	31	-4	-1

近畿地方	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン

シネコン	54	498	37	299	17	199
ミニシアター / 名画座	17	32	18	30	-1	2
既存興行館	15	46	58	128	-43	-82
成人映画館	11	12	26	30	-15	-18
近畿地方合計	97	588	139	487	-42	101

中国・四国地方

中国・四国地方の2015年のスクリーン数は264、映画館は49で、2005年比で映画館数は29減少しているが、スクリーン数では11増加している。日本全体に占める割合は、スクリーン数で7.6%、映画館数で8.4%となっている。

山口県は、既存興行館が閉館し5館6スクリーン減となっている。県庁所在地の山口市には、隣接する防府市にシネコンが開館した後、市内の既存興行館が閉館して以来、映画館がない状態が続いているが、2003年に開館した山口情報芸術センター(YCAM)において連日映画上映が行われており、映画館の不在を補っている。

島根県には松江市と出雲市にシネコンが1館ずつ、徳島県は徳島市郊外のシネコン1館と市内の興行館1館、高知県には高知市内に2館あるのみとなっており、中国地方の日本海側と四国では映画館の空白地域が目立っている。

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
鳥取県						
シネコン	1	6	1	6	0	0
ミニシアター / 名画座	0	0	0	0	0	0
既存興行館	2	5	4	10	-2	-5
成人映画館	0	0	0	0	0	0
鳥取県合計	3	11	5	16	-2	-5

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
島根県						
シネコン	2	15	1	5	1	10
ミニシアター / 名画座	0	0	0	0	0	0
既存興行館	0	0	3	5	-3	-5
成人映画館	0	0	0	0	0	0
島根県合計	2	15	4	10	-2	5

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
岡山県						
シネコン	3	31	1	10	2	21
ミニシアター / 名画座	1	2	2	2	-1	0
既存興行館	2	5	8	14	-6	-9
成人映画館	1	1	2	2	-1	-1
岡山県合計	7	39	13	28	-6	11

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
広島県						
シネコン	7	59	5	40	2	19
ミニシアター / 名画座	6	9	5	6	1	3
既存興行館	1	2	9	20	-8	-18
成人映画館	1	2	3	4	-2	-2
広島県合計	15	72	22	70	-7	2

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
山口県						
シネコン	4	29	3	21	1	8
ミニシアター / 名画座	1	1	1	2	0	-1
既存興行館	0	0	6	13	-6	-13
成人映画館	0	0	0	0	0	0
山口県合計	5	30	10	36	-5	-6

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
徳島県						
シネコン	1	8	1	8	0	0
ミニシアター / 名画座	0	0	0	0	0	0
既存興行館	1	2	4	5	-3	-3
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1
徳島県合計	2	10	6	14	-4	-4

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
香川県						
シネコン	3	23	2	14	1	9
ミニシアター / 名画座	1	2	1	2	0	0
既存興行館	0	0	0	0	0	0
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1
香川県合計	4	25	4	17	0	8

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
愛媛県						
シネコン	7	49	6	40	1	9
ミニシアター / 名画座	1	1	3	5	-2	-4
既存興行館	1	2	0	0	1	2
成人映画館	0	0	0	0	0	0
愛媛県合計	9	52	9	45	0	7

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
高知県						
シネコン	1	9	1	9	0	0
ミニシアター / 名画座	0	0	0	0	0	0
既存興行館	1	1	3	7	-2	-6
成人映画館	0	0	1	1	-1	-1
高知県合計	2	10	5	17	-3	-7

中国・四国地方	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネコン	29	229	21	153	8	76
ミニシアター / 名画座	10	15	12	17	-2	-2
既存興行館	8	17	37	74	-29	-57
成人映画館	2	3	8	9	-6	-6
中国・四国地方合計	49	264	78	253	-29	11

九州・沖縄地方

九州地方の2015年のスクリーン数は404、映画館は70で、2005年比で映画館数は23減少しているが、スクリーン数では31増加している。日本全体に占める割合は、スクリーン数で11.6%、映画館数で12%となっている。

九州地方8県のうち、スクリーン数は福岡県、長崎県、大分県、鹿児島県、沖縄県の5県で増加しているが、佐賀県、熊本県、宮崎県では減少している。福岡県は、東京やその他の大都市を抱える都道府県と同様に、都市部において既存館からシネコンへの移行が進んでいることがわかる。

九州地方では、ミニシアター/名画座が5館(8スクリーン)増加していることに注目したい。佐賀県では佐賀市に「シアター・シエマ」(07～)、大分県では日田市に「日田シネマテーク・リベルテ」(09～)、鹿児島県には鹿児島市に「鹿児島ガーデンズシネマ」(10～)が誕生しており、シネコンとは異なるプログラムを地域に提供している。

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
福岡県						
シネコン	17	169	13	124	4	45
ミニシアター/名画座	2	4	4	6	-2	-2
既存興行館	3	7	6	19	-3	-12
成人映画館	4	5	6	8	-2	-3
福岡県合計	26	185	29	157	-3	28

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
佐賀県						
シネコン	2	18	2	15	0	3
ミニシアター/名画座	1	2	0	0	1	2
既存興行館	0	0	3	7	-3	-7
成人映画館	0	0	0	0	0	0
佐賀県合計	3	20	5	22	-2	-2

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
長崎県						
シネコン	3	24	2	15	1	9
ミニシアター/名画座	1	1	0	0	1	1
既存興行館	0	0	5	8	-5	-8
成人映画館	1	1	1	1	0	0
長崎県合計	5	26	8	24	-3	2

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
熊本県						
シネコン	5	44	4	35	1	9
ミニシアター/名画座	1	3	1	1	0	2
既存興行館	1	1	7	13	-6	-12
成人映画館	2	2	3	3	-1	-1
熊本県合計	9	50	15	52	-6	-2

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
大分県						
シネコン	3	30	3	26	0	4
ミニシアター/名画座	4	4	1	1	3	3
既存興行館	0	0	4	6	-4	-6
成人映画館	1	1	1	1	0	0
大分県合計	8	35	9	34	-1	1

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
宮崎県						
シネコン	1	9	1	9	0	0
ミニシアター/名画座	1	2	—	1	1	1
既存興行館	2	6	6	11	-4	-5
成人映画館	1	1	1	1	0	0
宮崎県合計	5	18	8	22	-3	-4

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
鹿児島県						
シネコン	3	27	2	16	1	11
ミニシアター/名画座	1	1	0	0	1	1
既存興行館	1	1	3	8	-2	-7
成人映画館	1	1	1	1	0	0
鹿児島県合計	6	30	6	25	0	5

	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
沖縄県						
シネコン	4	33	3	24	1	9
ミニシアター/名画座	1	3	1	3	0	0
既存興行館	2	3	6	7	-4	-4
成人映画館	1	1	3	3	-2	-2
沖縄県合計	8	40	13	37	-5	3

九州・沖縄地方	2015年		2005年		2005→2015 増減	
	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン	映画館	スクリーン
シネコン	38	354	30	264	8	90
ミニシアター/名画座	12	20	7	12	5	8
既存興行館	9	18	40	79	-31	-61
成人映画館	11	12	16	18	-5	-6
九州地方・沖縄県合計	70	404	93	373	-23	31